

科学研究費助成事業（基盤研究（S））研究進捗評価

課題番号	15H05771	研究期間	平成27年度～平成31年度
研究課題名	海の鉱物資源の科学と工学の 展開	研究代表者 (所属・職) (平成30年3月現在)	加藤 泰浩 (東京大学・大学院工学系研 究科・教授)

【平成30年度 研究進捗評価結果】

評価	評価基準	
	A+	当初目標を超える研究の進展があり、期待以上の成果が見込まれる
○	A	当初目標に向けて順調に研究が進展しており、期待どおりの成果が見込まれる
	A-	当初目標に向けて概ね順調に研究が進展しており、一定の成果が見込まれるが、一部に遅れ等が認められるため、今後努力が必要である
	B	当初目標に対して研究が遅れており、今後一層の努力が必要である
	C	当初目標より研究が遅れ、研究成果が見込まれないため、研究経費の減額又は研究の中止が適当である
(意見等)		
<p>本研究は、太平洋で過去4億年にわたり生成された「海の鉱物資源」をグローバルな環境・物質循環変動をはじめとする地球システム進化の中に位置づけることで、従来にない包括的かつ統一的な資源成因論を構築することを目的としている。</p> <p>中でもレアアース資源の成因に関する研究については研究成果を上げていると判断できる。また、マンガノジュールについての年代測定結果は大変興味深く、今後「資源」としての評価をコバルトリッチクラストや硫化物鉱床についての評価と併せて進めることで大きな成果が得られるものと期待する。</p>		